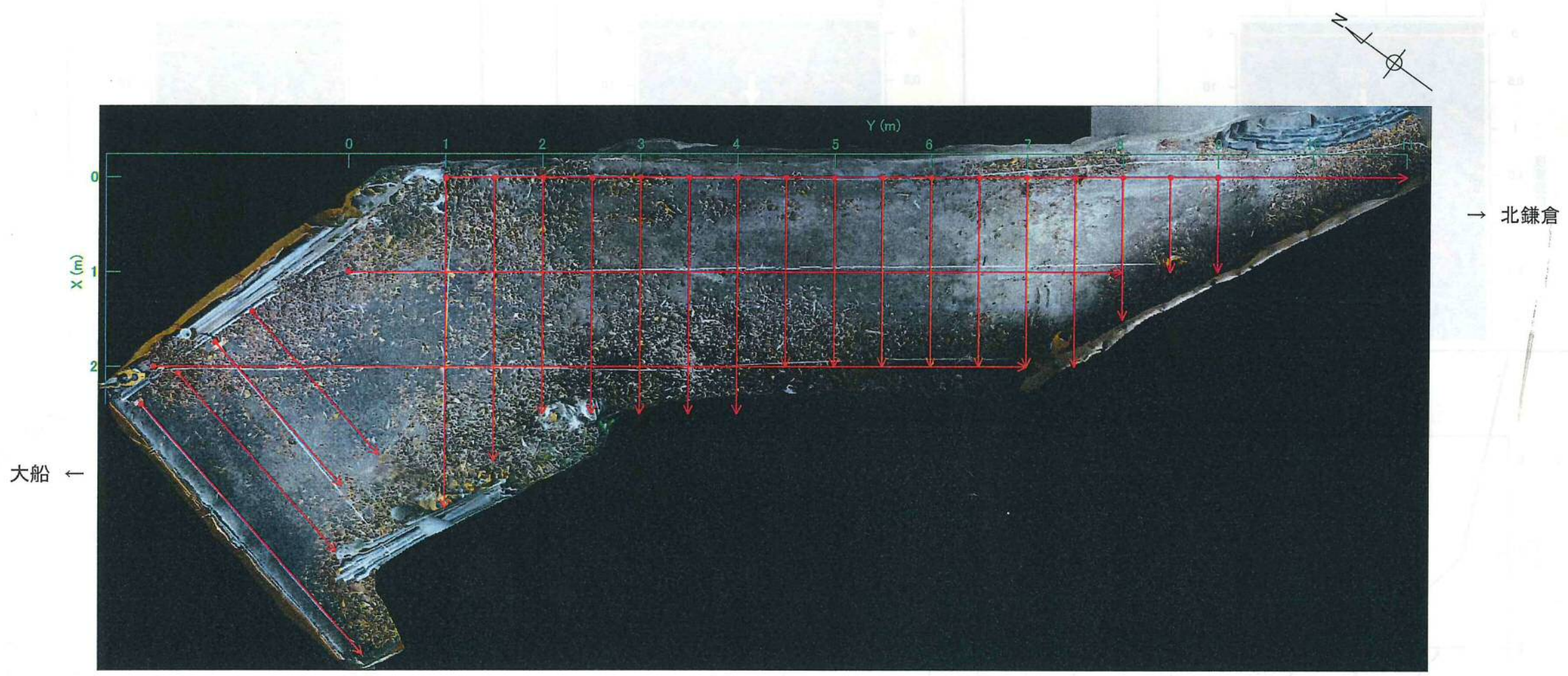


北鎌倉隧道安全対策検討業務委託
第 2 回委員会資料

参考資料 2 路面下地中レーダ探査結果

平成 29 年 1 月 30 日

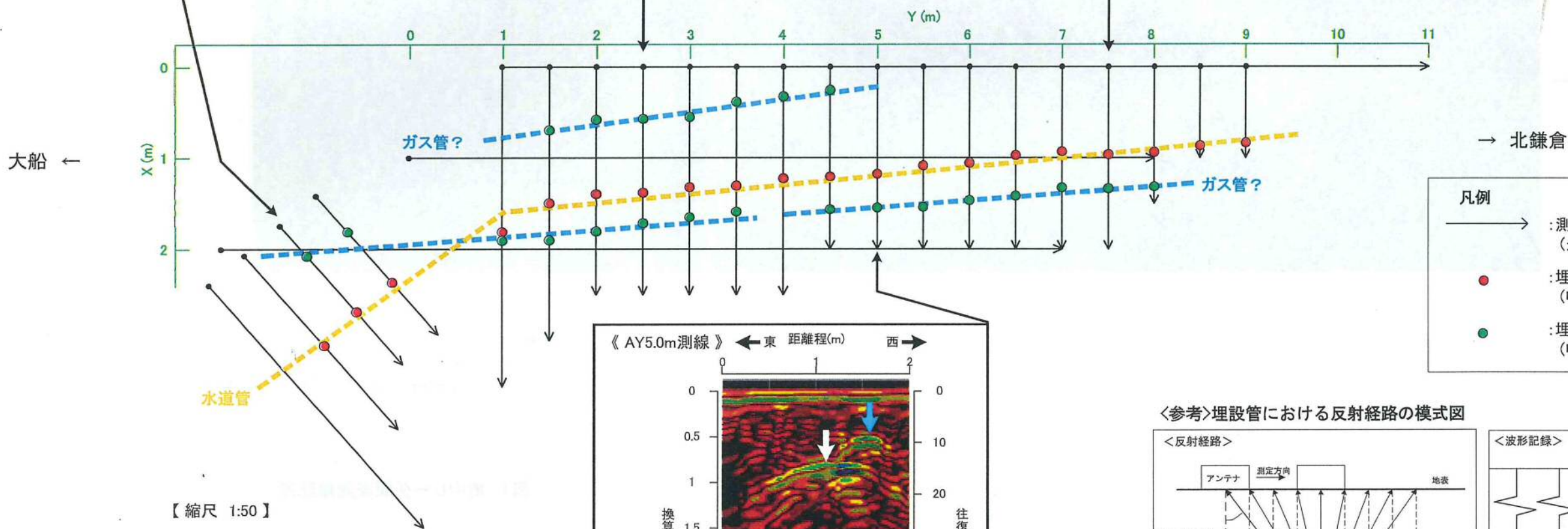
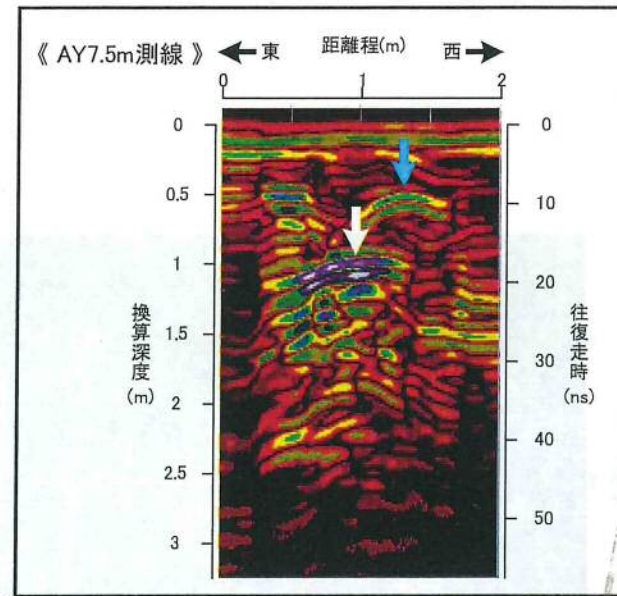
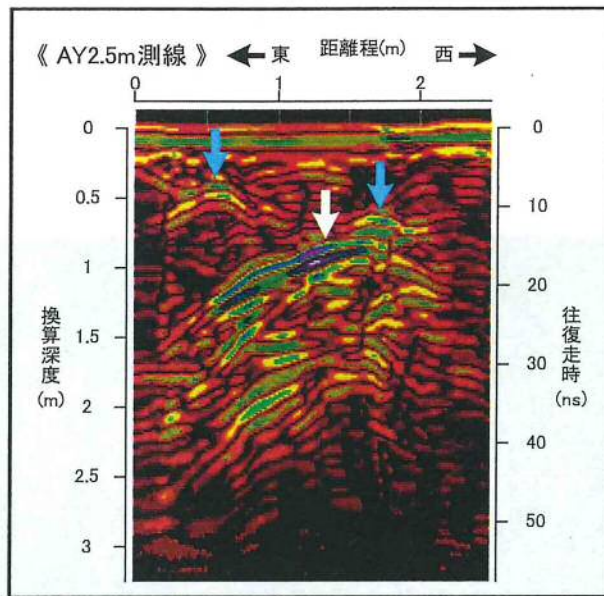
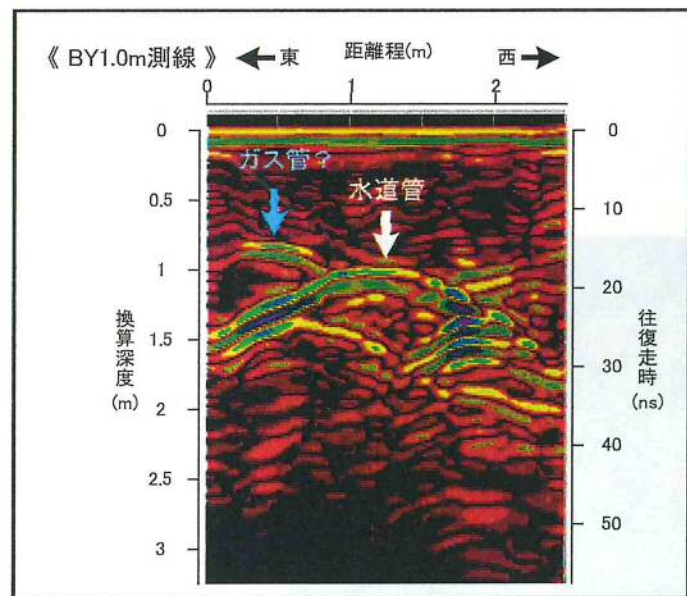
一般社団法人 日本トンネル技術協会



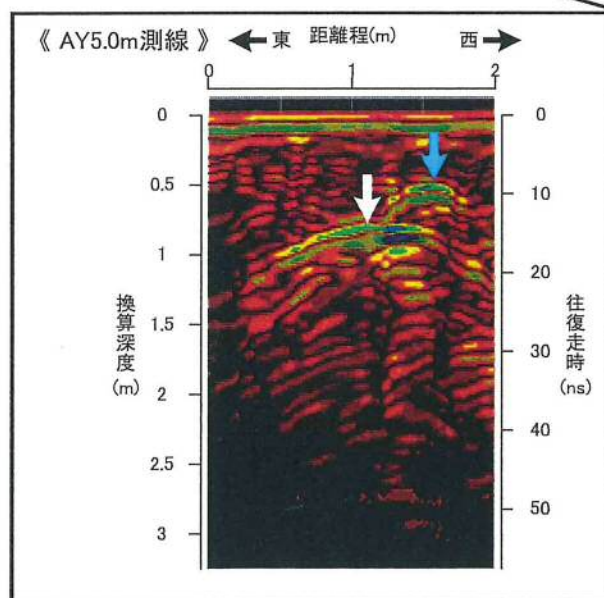
【縮尺 1:50】

凡例
 → :測線
 (矢印は測定方向を示す)

図1 地中レーダ探査測線配置



【縮尺 1:50】



<参考>埋設管における反射経路の模式図

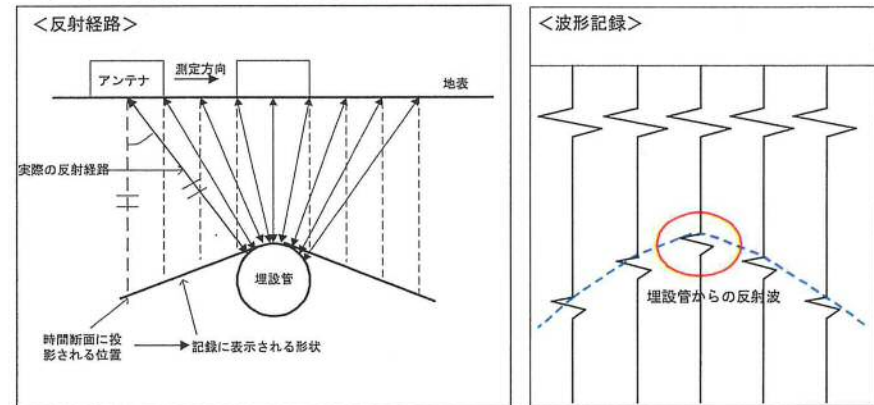
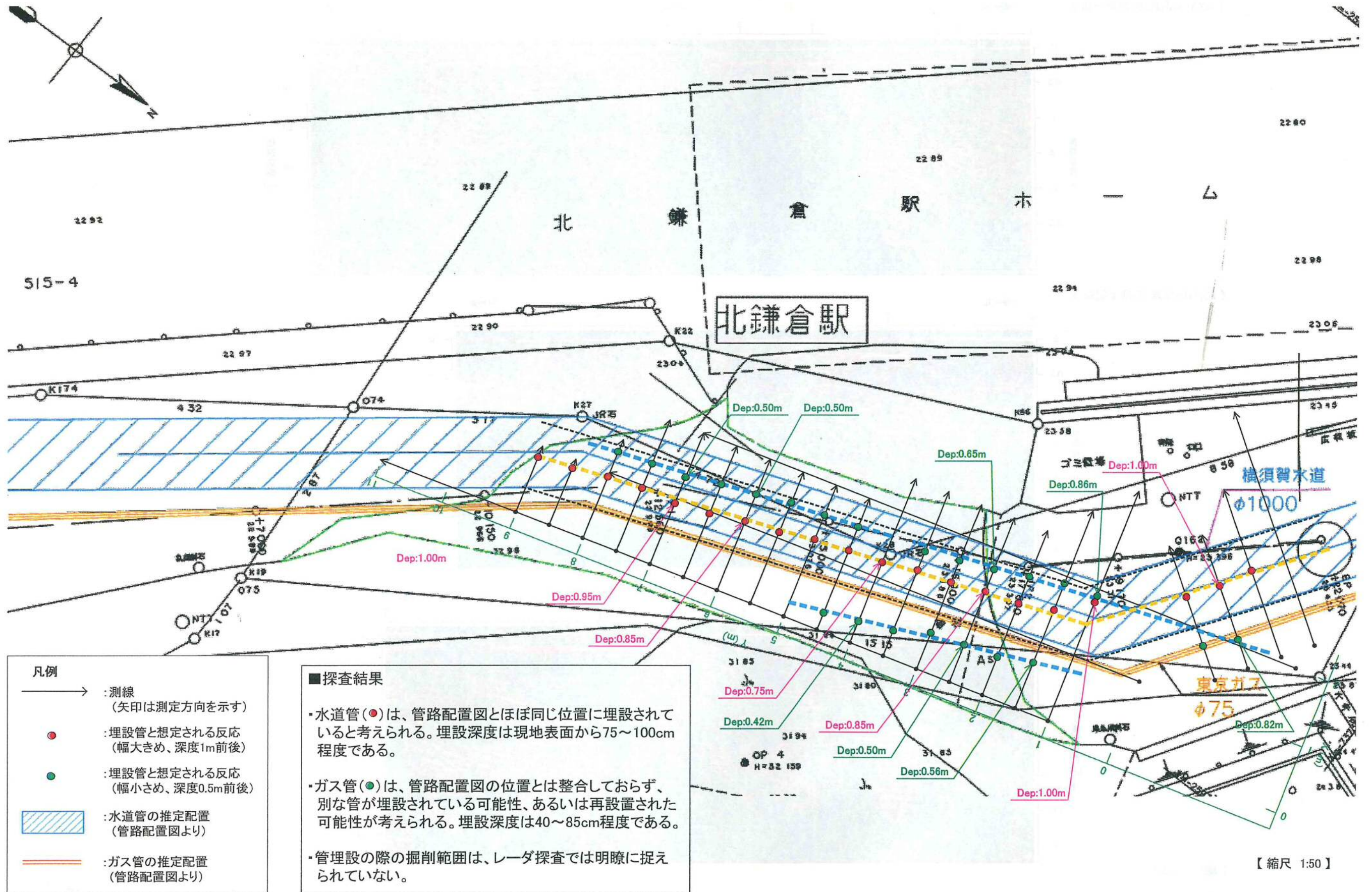


図2 地中レーダ探査測線配置及び反応箇所



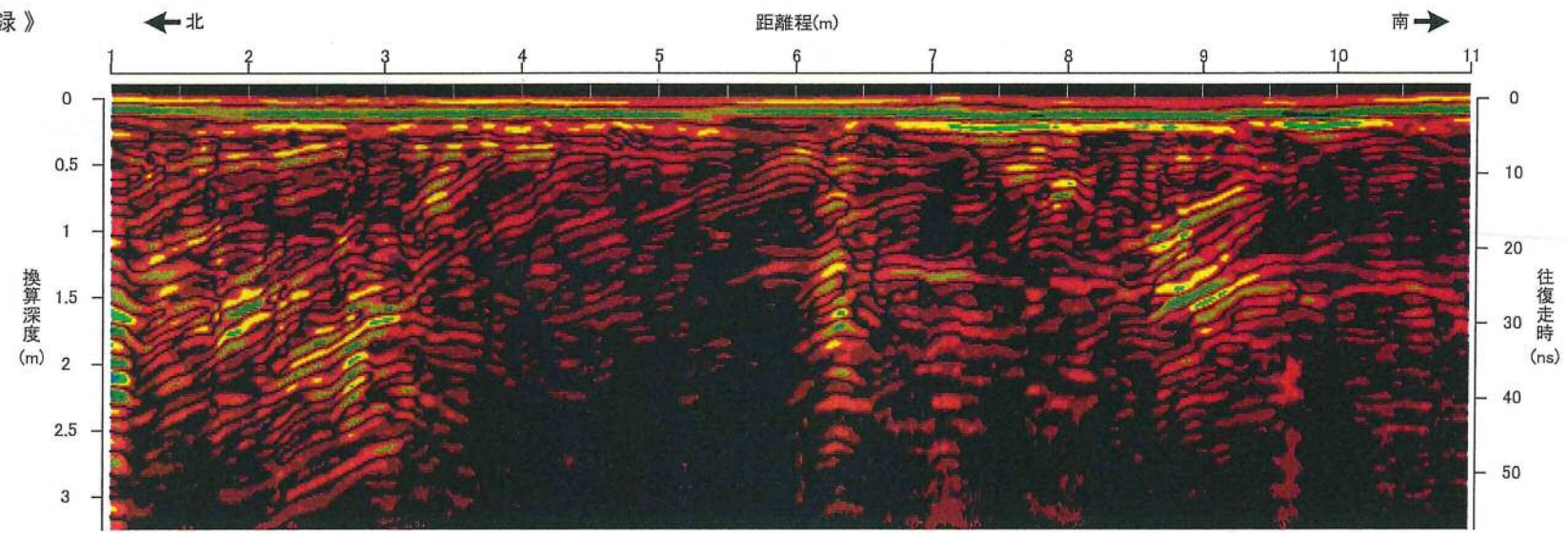
- 凡例**
- : 測線
(矢印は測定方向を示す)
 - : 埋設管と想定される反応
(幅大きめ、深度1m前後)
 - : 埋設管と想定される反応
(幅小さめ、深度0.5m前後)
 - ▨ : 水道管の推定配置
(管路配置図より)
 - == : ガス管の推定配置
(管路配置図より)

- 調査結果**
- ・水道管(●)は、管路配置図とほぼ同じ位置に埋設されていると考えられる。埋設深度は現地表面から75~100cm程度である。
 - ・ガス管(●)は、管路配置図の位置とは整合しておらず、別な管が埋設されている可能性、あるいは再設置された可能性が考えられる。埋設深度は40~85cm程度である。
 - ・管埋設の際の掘削範囲は、レーダ探査では明瞭に捉えられていない。

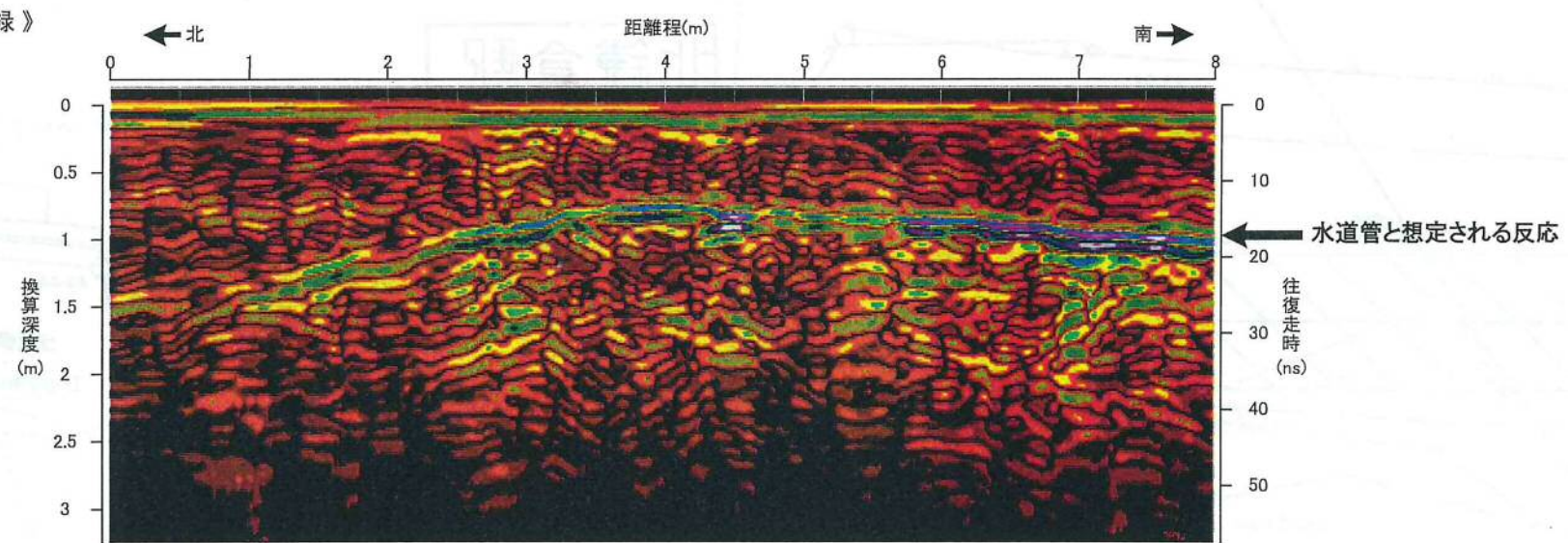
【縮尺 1:50】

図3 管路配置図との重ね合わせ

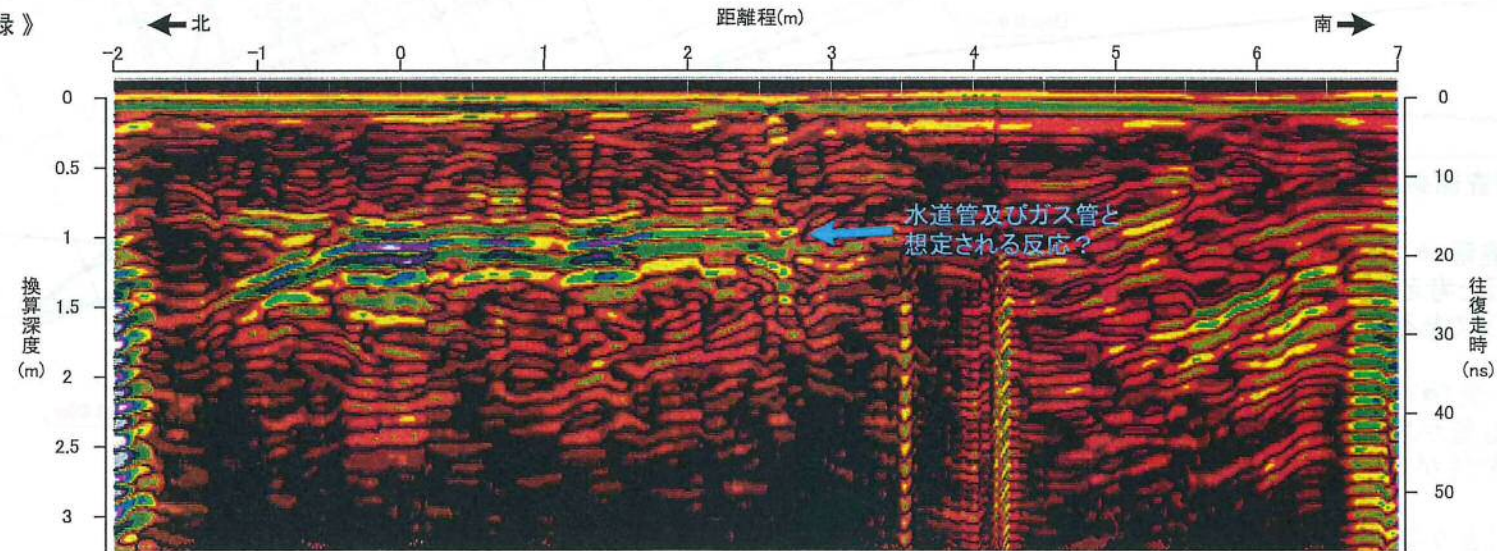
《 AX0.0m測線の測定記録 》



《 AX1.0m測線の測定記録 》

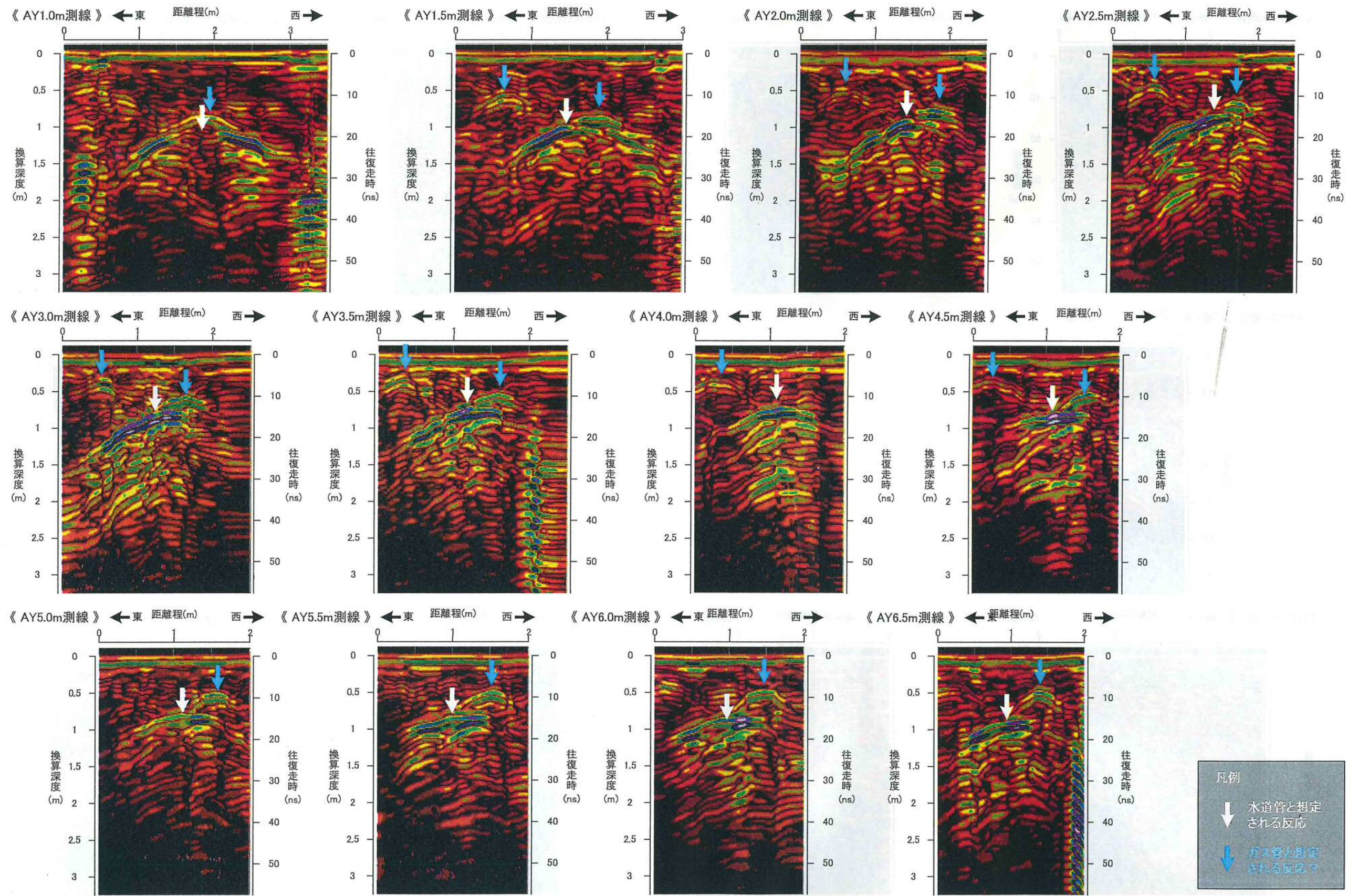


《 AX2.0m測線の測定記録 》



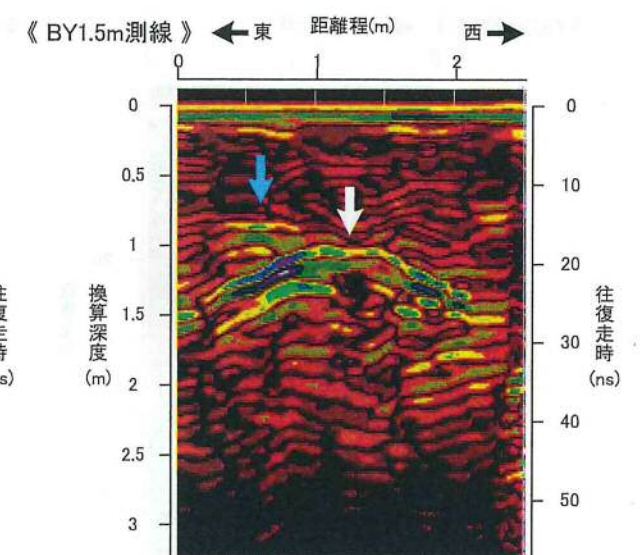
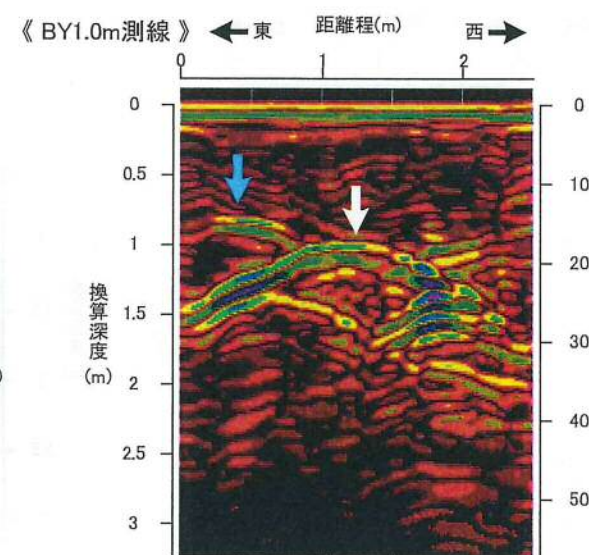
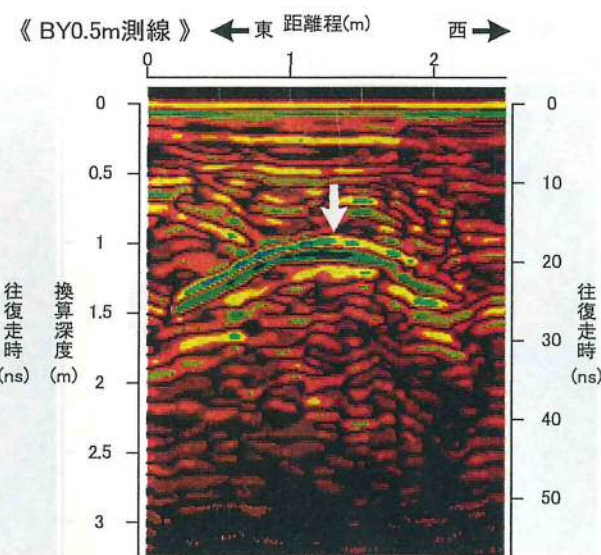
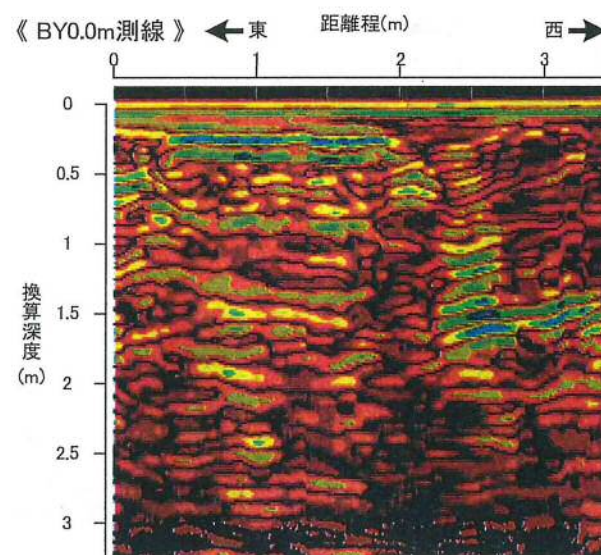
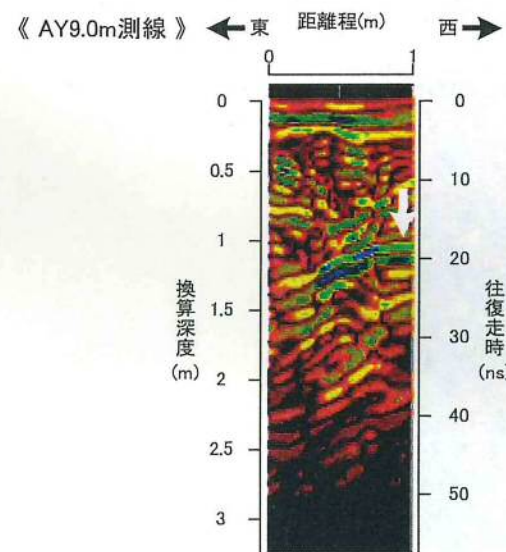
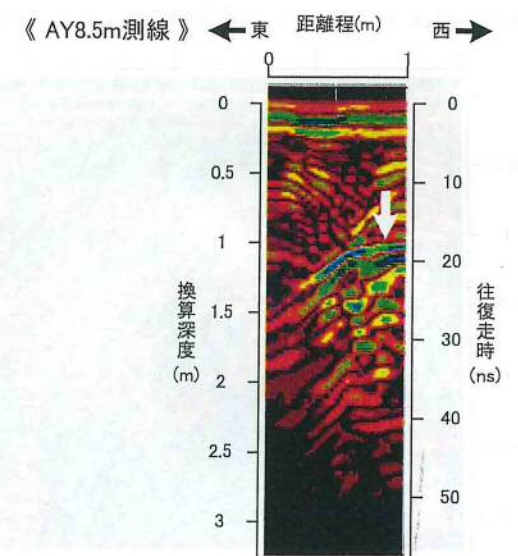
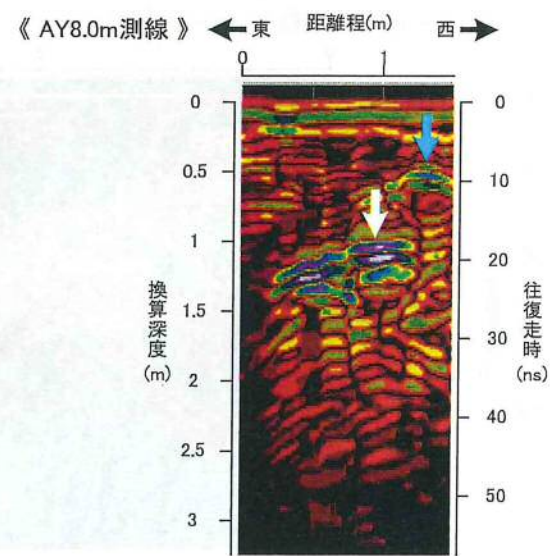
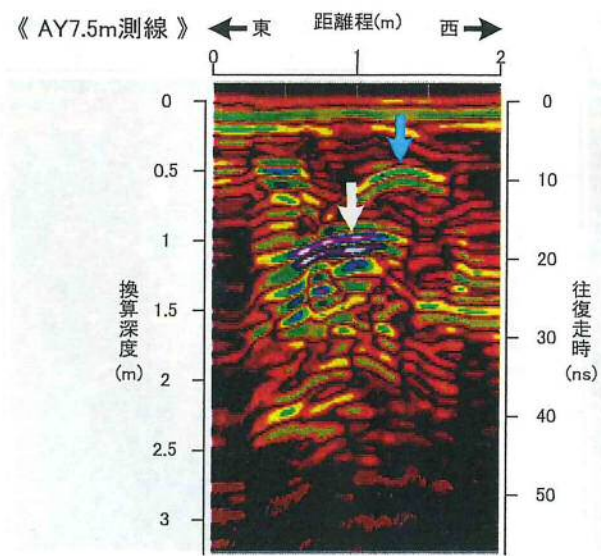
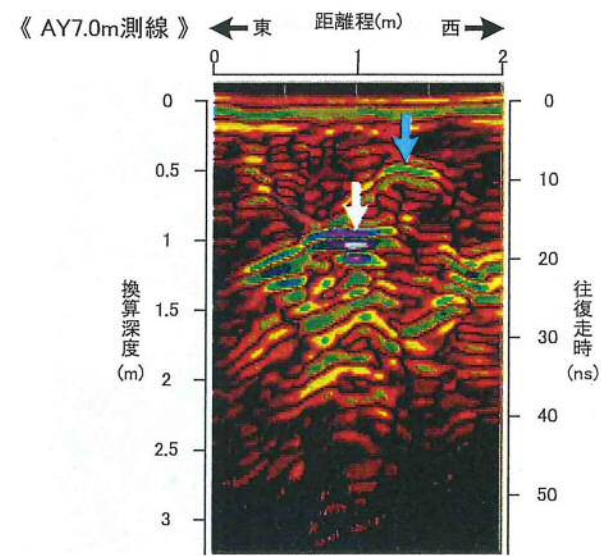
【 縮尺 1:50 】

図4 地中レーダ探査記録(1)



【縮尺 1:50】

図5 地中レーダ探査記録(2)



【縮尺 1:50】

図6 地中レーダ探査記録(3)